

第152回実践勉強会 実施レポート

共催 第一三共株式会社 大田区薬剤師会

参加者 92 名

日時：2023 年 4 月 1 1 日(火)19:45～21:15

形態：Zoom

演題：薬剤師の為の脳卒中診療 up to date

演者：東邦大学 医学部 部内科学講座 神経内科学分野

助教 長澤 潤平 先生

質疑①

Q ラクナ梗塞があっても症状がない場合は薬物治療の対象にはならないのでしょうか？

治療開始のタイミングがあれば教えてください。

A 無症状であれば抗血小板薬は使用しない。血圧が高いケースが多いので血圧管理を徹底する

質疑②

Q 脳梗塞予防の薬を飲んでいる方での生活上の注意すべき事項、特に脱水のリスクの有無を教えてください。

A 脱水があると血流が悪くなるので注意してもらおうよう指導していただきたい。ラクナ梗塞は朝方発症しやすいので朝の血圧管理も同様に注意が必要です。

質疑③

Q ICMのデータ送受信方法は？

A 患者の自宅に電波受け取り用のモニタリング機器を設置し自動で病院へデータが共有される。不整脈検知時も同様に病院へ連絡がくるようになっている。

質疑④

Q DAPTが一年以上継続されている症例は病院や処方医へ疑義紹介すべきか？

A ステントが留置されている症例やステント血栓症の既往がある場合はロングDAPTを選択しているが、多くはない。是非長期で継続されている症例があれば疑義紹介してください。

以上

文責 第一三共（株）筒井